

大会名 Competition	第35回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-104	Year Month Day Time 2022 年 5 月 4 日 9 : 30
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB															
能代科技	<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>31</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>31</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>26</td></tr> <tr><td>26</td><td>4th</td><td>25</td></tr> <tr><td>0</td><td>T</td><td></td></tr> </table>	25	1st	31	15	2nd	31	22	3rd	26	26	4th	25	0	T		開志国際
25	1st	31															
15	2nd	31															
22	3rd	26															
26	4th	25															
0	T																
88 ●		113 ○															

主審:Crew chief
水木 順仁 秋田
副審:Umpire
伊勢 友春 秋田
笹村英明 秋田
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代市役所

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	相原 一生	CAP	22	5	1	5	1	4	／	諸星 然		0	0	0	0	2
5	×	安田 圭汰		8	1	1	3	4	5	×	武藤 俊太郎	CAP	22	0	9	4	1
6	×	石津 光彩		3	0	1	1	4	6	／	境 アリーム		2	0	1	0	1
7	×	高橋 輝		7	1	2	0	2	7	×	介川 アンソニー 翔		38	4	10	6	2
8	／	杉本 唯斗		4	0	2	0	0	8	／	日下野 アスカ		6	0	3	0	2
9	×	渡邊 直洋		29	4	8	1	0	9	×	武内 優空		7	1	2	0	1
10	／	梅山 和		0	0	0	0	1	10	×	澤田 竜馬		8	2	1	0	1
11	／	鳥海 夏希		2	0	1	0	1	11		石森 健慎		-	-	-	-	0
12		葛西 皇亮		-	-	-	-	0	12		牛尾 温		-	-	-	-	0
13	／	中野 珠斗		6	0	2	2	2	13	／	堀井 敬太		3	1	0	0	0
14		山本 倅也		-	-	-	-	0	14	／	NNEBUIFE KELVIN CHIEMELIE		14	0	7	0	2
15	／	関口 創介		4	0	2	0	2	15	×	BASHIR FAISAL MUHAMMAD		13	0	5	3	1
16		小田 篤 柊斗		-	-	-	-	0	16	／	葦澤 空都		0	0	0	0	0
17	／	伊藤 賑一		3	1	0	0	1	17	／	フリッシュ ニコラス 聖		0	0	0	0	1
18		岸 真矢		-	-	-	-	0	18	／	高千穂 海璃		0	0	0	0	0
コーチ		小松 元						0	コーチ		富樫 英樹						0
Aコーチ		佐藤 潤也						0	Aコーチ		津野 祐樹						0
合計				88	12	20	12	18	合計				113	8	38	13	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	29	32.95%	渡邊 直洋	1	38	33.63%	介川 アンソニー 翔
2	22	25.00%	相原 一生	2	22	19.47%	武藤 俊太郎
3	8	9.09%	安田 圭汰	3	14	12.39%	NNEBUIFE KELVIN CHIEMELIE

Score ranking[Game]

1	38	介川 アンソニー 翔	開志国際	2	29	渡邊 直洋	能代科技	3	22	相原 一生	能代科技
---	----	------------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	------

1Q、能代科技は2-3ゾーンディフェンス、開志国際はマンツーマンディフェンスでスタート。能代科技#9渡邊の3Pで先制する。前線から激しくプレッシャーをかける能代科技に対し、開志国際は#15バシールを中心としたインサイドで着実に得点を重ねる。開始3分、圧倒的な高さを誇る開志国際が徐々にペースをつかんでいく。#9牛尾・#7介川の3Pが決まり始めると一気に開志国際ペースとなり、10点差にリードを広げる。終盤、追いつきたい能代科技は伝統のフルコートプレスで速い展開から3P中心の攻撃で何とか食らいつき、25-31、開志国際リードで1Q終了。

2Q、#7介川の3Pを皮切りに再び二桁リードに乗せた開志国際は、更に得点を重ね一時15点差とするが、能代科技はガード陣の激しいディフェンスと速いパス回しで追いつき、10点差前後の攻防が続く。互いに激しい運動量で足を止めず消耗していく中で、徐々に能代科技のシュートが落ち始めると流れは開志国際に傾く。終盤、連続10得点を許した能代科技は#17伊藤が3Pを決めるものの単発に終わり、40-62で前半終了。

3Q、一刻も早く点差を詰めたい能代科技は激しいディフェンスからスティールを連発し#9渡邊の連続12得点で一時17点差まで詰め寄る。しかしその後は開志国際#15バシールのポストプレイを中心としたフォワード陣の圧倒的な破壊力で連続得点、残り4分28秒で58-86と大差をつける。62-88で3Q終了。

4Q、開志国際#14ネプフィの豪快なリバウンドダンクショットで始まる。開志国際の高さに加え、タイトなディフェンスの前に能代科技の得点が止まり、ついに30点差となる。能代科技のシュートも散発に終わり、その後も着実に得点を重ねた開志国際が控えを出す余裕も見せ、88-113で勝利した。